

授業の概要

無歯顎の患者の口腔内と同様の三次元的関係に位置付けられた無歯顎模型上で全部床義歯を製作するために、その理論的背景、技術および製作方法を習得する。

- 教科書：最新歯科技工士教本 有床義歯技工学（医歯薬出版）
- 授業時間：木曜日 18：00～18：45
- オフィスアワー：池田 貴之（ikedatahayuki@nihon-u.ac.jp） 木曜日 17：00～17：45
中林 晋也（nakabayashi.shinya@nihon-u.ac.jp） 木曜日 17：00～17：45
- 成績評価：前期は定期試験（40％）と平常試験（10％）、後期は定期試験（50％）で総合的に評価する。平常試験後に解説を行いフィードバックする。
- 注意事項：平常試験はシラバス記載以外にも随時行うことがある。
- 授業方法：教科書に沿った内容のスライドとプリントを使用して講義を行う。第8回時に平常試験と解説を実施する。
- 準備学習：事前に講義内容を教科書で確認しておくこと。平常試験を実施するので復習すること。
- 準備学習時間：予習と復習それぞれに講義時間と同等の時間を充てること。
- 実務経験：池田貴之：現在、歯学部歯科補綴学第Ⅰ講座に在籍しており、全部床義歯を専門とする歯科医師の立場から、口腔内で機能させる全部床義歯の必要性や理論を講義していく。
中林晋也：現在、歯学部歯科補綴学第Ⅱ講座に在籍しており、歯科医師の立場から口腔内で機能させるオーバードンチャーの特徴および磁性アタッチメントの技工操作や注意点を、臨床例を交えながら講義していく。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第1回4月4日 市川 裕美	1. 全部床義歯の咬合採得に伴う技工作業 1)咬合床の製作	・咬合床の構成要素および使用目的と意義を説明できる。
第2回4月18日 池田 貴之	2. 有床義歯技工学概説 3. 有床義歯技工に関連のある生体について	・全部床義歯の診療と技工の流れを関連づけることができる。 ・無歯顎患者の喪失し障害された機能再建のための理論とその全過程を説明することができる。 ・歯科医学の中で無歯顎機能再建の占める位置と割合、重要性について説明できる。
第3回5月16日 池田 貴之	4. 全部床義歯の特性 5. 全部床義歯の印象採得に伴う技工作業	・全部床義歯調整に際して、診査を行い、診断を下す重要性を理解し、それぞれの臨床的事項とその術式を説明できる。 ・人工臓器である総義歯による無歯顎者機能再建の方法について説明できる。 ・研究(診断)模型について、解剖学的特徴

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
		<p>などを説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業用模型は、総義歯調製の全過程で使用される重要な模型であることを認識し、製作法を述べることができる。
<p>第4回6月6日 市川 裕美</p>	<p>6. 全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全部床義歯の維持安定および審美性を考慮した排列方法を説明できる。 前歯部の排列方法は審美性および発音等と関連づけることができる。 両側性平衡咬合の咬合様式について目的と意義を説明できる。
<p>第5回6月27日 市川 裕美</p>	<p>6. 全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成 7. 全部床義歯の埋没と重合</p>	<ul style="list-style-type: none"> 歯肉形成の目的を説明できる。 埋没の種類と方法を説明できる。
<p>第6回7月11日 池田 貴之</p>	<p>8. 咬合採得にともなう技工操作</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全部床義歯の咬合採得は、総義歯の調製と予後を左右する重要な操作であることを理解し、咬合床の所要条件について説明できる。 咬合器の特徴および操作について説明できる。
<p>第7回7月25日 中林 晋也</p>	<p>9. その他の有床義歯 オーバーデンチャー 1)磁性アタッチメントの基礎 2)磁性アタッチメントの製作法</p>	<ul style="list-style-type: none"> オーバーデンチャーの適応と特徴を説明できる。 磁性アタッチメントの製作法を説明できる。
<p>第8回8月1日 市川 裕美</p>	<p>10. 前期まとめ 平常試験・解説</p>	<ul style="list-style-type: none"> 第1回から第7回までの講義内容について理解度を確認する。 理解度の低い箇所について知識を深めることができる。